

令和4年度（3年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和04年12月05日

1 事務事業の現状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	455	友好都市議員研修事業							
	この事務事業の位置	政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
		施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
		基本事業	広域交流								
	主管課名	議事課			課長名	加藤 陽介					
	この事務事業の開始時期	平成13(2001)年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令	なし									
	事業の概要	現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由									
	友好都市(北海道士別市・長野県木曾町)を議員が訪問することにより、市政の施策に寄与し、自己の政策形成能力を養うとともに、相互の交流を図ることを目的とする。 「SDGsの取り組み:17」	友好都市(士別市・木曾町)を訪問し相互の交流を図ることは、両市町の友好関係を維持するために必要である。 木曾町:全議員対象に改選年に開催、日帰り。 士別市:未訪問議員対象に改選翌年に開催(議員在任期間中に1回参加)、2泊3日。 ※士別市交流が新型コロナウイルスの影響により中止となったため、令和4(2022)年度に実施予定。									
	R3年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等	令和2(2020)年度の士別市交流(副議長、未訪問議員)が新型コロナウイルスの影響によりすべて中止となり、令和3(2021)年度に予定したが中止となった。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
変 化 内 容	目的が相互交流だけでなく、周辺市町村を含めた研修に重点が変化してきた			名称		単位					
				①	士別市・木曾町を訪問した延べ議員数	人					
				②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 士別市・木曾町未訪問の議員				(2)対象指標(対象の大きさを表す指標)							
				名称		単位					
				①	士別市未訪問の議員数	人					
				②	木曾町未訪問の議員数	人					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 士別市、木曾町との友好を図る				(3)成果指標(目的の達成度を示す指標)							
				名称		単位					
				①	士別市、木曾町を訪問した議員数	人					
				②							
結果(上位基本事業の意図) 自主的な交流活動をしてもらう				(4)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)							
				名称		単位					
				①	友好都市交流が重要と答えた人の割合	%					
				②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 人	0	5	0	5	21	10	1			
	②										
(2)の 対象指標	① 人	4	4	4	4	9	9	0			
	② 人	0	0	0	0	20	0	0			
(3)の 成果指標	① 人	0	1	0	1	21	10	1			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① %	56.3	58	51	56	58	60	60			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	01	項	01	目	01
コスト	年度	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
事業費(決算又は予算額)A	単位	0	821	0	821	357	821	135			
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	821	0	821	357	821	135		
人件費B	千円	558	558	33.5	558	558	558	558			
正職員従事時間×人数	時間×人	50×3	50×3	3×3	50×3	50×3	50×3	50×3			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C	千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C	千円	558	1,379	33.5	1,379	915	1,379	693			
単位あたりコスト	① 千円/人	139.5	344.8	8.4	344.8	101.7	153.2	0			
(トータルコスト/②)の対象指標	② 千円/人	0	0	0	0	45.8	0	0			

様式1-2

事務事業名	No.	455	友好都市議員研修事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> 得られていない	理由	コロナによる事業中止のため、令和元(2019)年度と比べて成果が減っている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す(拡大・縮小)必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	士別市・木曾町未訪問の議員という対象が変わらないため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す(目的の追加・拡充又は絞込)必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	議員の自己の政策形成能力を養い、友好都市との関係を維持するために士別市、木曾町との交流を図る必要があるため。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	対象となる議員が決まっているため、成果指標を向上させることができない。	
	目的達成状況	内容	コロナによる事業中止のため、令和3(2021)年度は未達成	
	市関与の必要性(実施手法)	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 議員の交流事業で友好都市との調整は議会事務局の職員が行うことが合理的と考えるため。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	市の代表である議員が友好都市との交流を図る事業は、類似する事業が無く統合することができない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。(仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？)	内容	友好都市(士別市・木曾町)との議会交流が希薄になってしまうため、当事業の事業費を削減することはできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	今後も議員の自己の政策形成能力を養い、士別市、木曾町との交流を図る必要があるため

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	議員からは、この事業は必要であるという意見が出ている。	対応策	事業を継続し、友好都市との交流を図る。
	R4年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	士別市、木曾町との交流	変更・追加	なし
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後も引き続き研修を実施し、友好都市との交流を深める。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	↓ 減少			
	成果の方向性	→ 維持			

令和 4年度（3年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和04年12月05日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	251	友好の森維持管理事業						
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち							
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう							
			基本事業	広域交流							
	主管課名		産業課		課長名	原田 久三					
	この事務事業の開始時期		平成13(2001)年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		なし								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	長野県木曾町三岳地区内にある「みよし市友好の森」の維持管理 友好の森ふれあいツアーを実施 【みよし市友好の森】 ・用地(旧三岳村有林・旧国有林) 378,415㎡ ・森林活用型施設 散策道、管理道路 6,000m、あずま屋 1棟 案内板、啓発用看板 「SDGsの取り組み：6、15」				・現状 全地球的な環境問題への対応 水源の実情に対する受益地への期待 ・必要性 水源地の森林環境の保全(枝打ち・除伐・間伐)とその有効活用に努める 次代を担う子ども達の環境体験学習の場として活用						
	R3年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			施設の維持管理業務、遊歩道緊急修繕、定期巡回(年8回)、間伐材にて木材玩具作成							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)							
変 化 内 容	現在事業途中のため現状のまま継続して実施			名称		単位					
				①	管理用歩道下草刈り延長距離	m					
		②									
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)							
みよし市友好の森(長野県木曾町三岳地区) 市民				名称		単位					
		①	友好の森面積	ha							
		②	人口	人							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標 (目的の達成度を示す指標)							
水源涵養林としての機能の維持				名称		単位					
		①	友好の森管理されている面積/総面積	%							
		②									
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標 (上位基本事業の成果指標)							
自主的な交流活動				名称		単位					
		①	自主的な交流活動と答えた人の割合	%							
		②									
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
(1)の 活動指標	① m	2,550	2,550	2,550	2,550	2,550	2,550	2,550			
	②										
(2)の 対象指標	① ha	38	38	38	38	38	38	38			
	② 人	61,236	62,100	61,236	61,218	62,360	62,620	62,880			
(3)の 成果指標	① %	100	100	100	100	100	100	100			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① %	0	8.6	0	8.6	8.6	8.6	8.6			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	02
コスト	年度	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	2,153	2,591	2,463	5,245	4,624	6,879	4,624			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	32	36	36	36		
	一般財源	千円	2,153	2,591	2,463	5,213	4,588	6,843	4,588		
人件費 B	千円	2,232	5,952	2,232	2,232	2,232	2,232	2,232			
正職員従事時間×人数	時間×人	200×3	400×4	200×3	200×3	200×3	200×3	200×3			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C	千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコスト A+B+C	千円	4,385	8,543	4,695	7,477	6,856	9,111	6,856			
単位あたりコスト ①	千円/ha	115.4	224.8	123.6	196.8	180.4	239.8	180.4			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②	千円/人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			

事務事業名	No.	251	友好の森維持管理事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	水源涵養林としての機能を果たしている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象は友好の森であり、見直すことは出来ない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的は水源涵養林としての友好の森の保全であり見直すことは出来ない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	森林保護、環境保全をしていくため、間伐作業の充実を図る。	
	目的達成状況	内容	友好の森の維持管理	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 木曾森林組合に維持管理委託	
効率性	事務事業の統合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	令和4（2022）年度より友好の森ふれあいツアー事業を統合する。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容	令和4（2022）年度より友好の森ふれあいツアー事業を統合する。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	水源涵養林としての友好の森の保全という目的であり、受益者負担の考え方にはそぐわない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	散策路が荒廃し、利用者がほとんどいないと聞く。	対応策	広報、ホームページを活用し、広く市民に利用推進の啓発を行う。
	R4年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	維持管理事業、橋緊急修繕工事、定期巡回（年8回）、間伐材にて木製玩具作成	変更・追加	木製玩具に代わり菜箸を作成する。
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・森林環境の保全事業と森林有効活用との連携 ・木曾町三岳地区との連携 ・樹木の間伐とその木材の有効活用 ・散策路や橋の老朽化による修繕		
コストの方向性		↓ 減少			
成果の方向性		→ 維持			

令和4年度（3年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和04年12月05日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	252	友好の森ふれあいツアー事業							
	この事務事業 の位置	政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
		施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
		基本事業	広域交流								
	主管課名	産業課			課長名	原田 久三					
	この事務事業の開始時期	平成15(2003)年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令	なし									
	事業の概要	小学生以上の市民の参加者を募集し、長野県木曾町三岳にみよし市が所有する森林(みよし市友好の森)で、木曾町や木曾森林組合等の指導協力を得て、間伐作業の体験を行う。 「SDGsの取り組み：6、15」			現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由 ・平成12(2000)年度に取得した「みよし市友好の森」(平成14(2002)年度に整備終了)で、市民への環境保全の大切さについて理解を得るためにも必要である。 ・次代を担う子どもたちの環境体験学習の場として必要である。						
	R3年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等	新型コロナウイルス感染症拡大により中止									
	事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか	現在事業途中のため現状のまま継続して実施			(1)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
変 化 内 容				名称		単位					
				① ツアー参加者			人				
対 象 (この事業の対象、範囲となる人、物)	市民			(2)対象指標(対象の大きさを表す指標)							
				名称		単位					
目 的 (この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)	森林の適正な保全が大切なことを知ってもらう 森林保全の方法を体験してもらう			(3)成果指標(目的の達成度を示す指標)							
				名称		単位					
結 果 (上位基本事業の意図)	自主的な交流活動をしてもらう			(4)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)							
				名称		単位					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 人	0	35	0							
	②										
(2)の 対象指標	① 人	61,236	62,100	61,236							
	②										
(3)の 成果指標	① %	0	100	0							
	② %	0	100	0							
(4)の結果の 成果指標	① %	0	8.6	0							
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	02
コスト	年度	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
事業費(決算又は予算額)A	単位	0	399	0	0	0	0	0			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	32	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	367	0	0	0	0			
人件費B	千円	297.6	3,243.8	297.6	0	0	0	0			
正職員従事時間×人数	時間×人	20×4	218×4	20×4	0×0	0×0	0×0	0×0			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C	千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C	千円	297.6	3,642.8	297.6	0	0	0	0			
単位あたりコスト	① 千円/人	0	0.1	0	0	0	0	0			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	252	友好の森ふれあいツアー事業
-------	-----	-----	---------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	木曽町や木曽森林組合等の指導協力を得て、間伐の体験を行うことで、森林保全の大切さを学ぶことが出来ている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	小学生未満の子どもが間伐材体験をするのは難しい。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	水源の大切さ、森林環境の保全を学ぶという目的であり見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	間伐体験だけでなく、他の体験プログラムを併用することにより参加者の増員を図って行く。	
	目的達成状況	内容	間伐体験のを通して、環境体験学習を実施した。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市直営にて実施	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	令和4（2022）年度より友好の森の維持管理と合わせて事業実施を行う。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	令和4（2022）年度より友好の森の維持管理と合わせて事業実施を行う。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	他の体験プログラムを実施した場合、教材費などの負担は必要になる。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	子供達には、大変良い機会なのでもっと充実した事業にして欲しい。	対応策	友好の森ふれあいツアーの体験プログラム等の見直しを行い参加者が満足のいく内容を実施していきたい。
	R4年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	ツアー中止	変更・追加	変更なし
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案	
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 令和4(2022)年度から友好の森維持管理事業と統合する。		
コストの方向性			→ 維持		
成果の方向性			↓ 減少		

令和4年度（3年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和04年12月06日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	407	小学生土別市交流事業							
	この事務事業の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
			基本事業	広域交流								
	主管課名		学校教育課			課長名	新美 貴宏					
	この事務事業の開始時期		平成13(2001)年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		みよし市友好都市国内交流事業補助金交付要綱									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	土別市へ市内の代表小学生を派遣する。また、土別市の代表小学生を受入する。事業を通じ双方の交流を推進する。 【SDGs取り組み状況：4】				平成12(2000)年10月の三好町と土別市の友好提携を契機として、今後一層の友好関係を深めていくための相互交流の推進を図るため。 子供同士の交流の見直しを図りつつ平成15(2003)年度から学校別研修を取り入れ事業の充実化を図ってきた。応募状況は、過去5年間でみても毎年度100人前後の応募があり、児童からの関心も高い事業となっている。なお、派遣された児童は、土別市での交流活動に意欲的に取り組み、その活動に十分満足している。							
	R3年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等				令和3(2021)年度は、土別市派遣事業は中止となった。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）								
変 化 内 容	子ども同士の交流の見直しを図りつつ平成15年度から学校別研修を取り入れた。また、令和2(2020)年度～令和4(2022)年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、土別市派遣事業は中止となった。			名称		単位						
				① 研修回数			回					
				② 派遣・受入期間			日					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）								
市内小学校5・6年生				名称		単位						
				① 小学5・6年生児童数			人					
				② 交流を行う学校数			校					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）								
北海道の大きな自然環境に触れたり、友好都市の児童と交流したりすることで、異なる文化の良さに触れ、視野を広めさせる。				名称		単位						
				① 土別市派遣団員児童数			人					
				② 土別市受入児童数			人					
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）								
自主的な交流活動をしてもらう				名称		単位						
				① 友好都市の交流推進が重要だと思う割合			%					
				②								
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R2年度実績値	R3年度計画値	R3年度実績値	R4年度計画値	R5年度目標値	R6年度目標値	R7年度目標値			
(1)の活動指標	① 回		0	0	0	0	3	3	3			
	② 日		0	4	0	4	8	8	8			
(2)の対象指標	① 人		0	1,215	1,215	1,191	1,141	1,138	1,235			
	② 校		0	8	0	8	8	8	8			
(3)の成果指標	① 人		0	0	0	0	32	32	32			
	② 人		0	20	0	20	20	20	20			
(4)の結果の成果指標	① %		50	70	0	70	70	70	70			
	②											
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	02	目	02
コスト		年度	R2年度実績値	R3年度計画値	R3年度実績値	R4年度計画値	R5年度目標値	R6年度目標値	R7年度目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	3,019	0	4,054	4,054	4,054	4,054			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	3,019	0	4,054	4,054	4,054	4,054			
人件費B		千円	1,227.6	1,785.6	1,785.6	1,785.6	1,785.6	1,785.6	1,785.6			
正職員従事時間×人数		時間×人	330×1	480×1	480×1	480×1	480×1	480×1	480×1			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	33	33	33	33	33	33			
トータルコストA+B+C		千円	1,227.6	4,837.6	1,818.6	5,872.6	5,872.6	5,872.6	5,872.6			
単位あたりコスト		千円/人	4	4	1.5	4.9	5.1	5.2	4.8			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/校	0	604.7	0	734.1	734.1	734.1	734.1			

様式1-2

事務事業名	No.	407	小学生土別市交流事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	異なる文化の良さに触れ、事業を通じて交流ができているため。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	友好都市提携の大きな目的である人づくりのための事業として実施するには、小学校高学年が最適と考えるため。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的としている、視野を広め、相互理解と友好親善ができているため。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	事前研修を含め、事業内容について、児童の意見を参考に充実させることで成果向上が見込める。	
	目的達成状況	内容	達成できている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 市からの補助金で実施している。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	スポーツ課の類似事業で、サッカー派遣団・少年野球派遣団があるが、目的が違うため、統廃合は難しい。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はいずれもできないか？）	内容	事前打合せ1回、研修会3回行っているが、事前の準備として必要であり、現状より削減することは難しい。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	市の補助金と参加者の負担金で実施している。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	学校・保護者から、引率教諭を各校1人にしてほしいとの要望がある。	対応策	引率教諭の人数について検討する。
	R4年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	令和3(2021)年度の派遣受入事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。	変更追加	7月下旬の土別市派遣は中止、1月の土別市児童受入は未定。
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 幅広い世代にまでに交流の輪が広がるように、必要に応じ内容を見直しながら今後も事業を継続する。		
		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

令和4年度（3年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和04年12月06日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	426	友好都市小学生スポーツ交流事業						
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち							
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう							
			基本事業	広域交流							
	主管課名		スポーツ課		課長名	林 幸男					
	この事務事業の開始時期		平成10(1998)年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市友好都市国内交流事業補助金交付要綱								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	友好都市国内交流の一環として、少年野球、少年サッカー、ミニバスケットボールを通じた士別市とみよし市のスポーツ交流会を開催する。毎年、みよし市から交流団（野球チームとサッカーチーム）を士別市へ派遣し、士別市の交流団（野球チームとサッカーチーム）を毎年受け入れている。ミニバスケットボールチームについて、令和4（2022）年度は派遣、令和5（2023）年度は受入、令和6（2024）年度以降は派遣及び受入を予定。「SDGsの取組：3,4」				新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止。スポーツを通じて、友好都市である士別市とみよし市の交流を深めるとともに、参加者の豊かな創造性と責任のある行動を体得する機会とし、青少年の健全育成を図るために必要である。						
	R3年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	対象となるみよし市少年スポーツ交流団に変化がないため、継続して実施。新型コロナウイルス感染症の影響により、ホームステイなど対面での交流が難しくなっている。				名称		単位				
					① 交流団派遣回数		回				
					② 交流団受入回数		回				
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）						
市内小学生					名称		単位				
					① 市内小学6年生の人数		人				
					②						
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3)成果指標（目的の達成度を示す指標）						
参加者同士の相互交流を深める。					名称		単位				
					① 交流団派遣人数		人				
					② 士別市交流団受入人数		人				
結果(上位基本事業の意図)					(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
市民の自主的な交流活動が行われる。					名称		単位				
					① 友好都市の交流を重要と答えた割合		%				
					②						
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 回	0	3	0	3	2	3	3			
	② 回	0	2	0	2	3	3	3			
(2)の 対象指標	① 人	617	614	642	598	608	618	628			
	②										
(3)の 成果指標	① 人	0	48	0	48	48	48	48			
	② 人	0	32	0	32	32	32	32			
(4)の結果の 成果指標	① %	56.3	58	50.7	58	60	60	62			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	10	項	06	目	01
コスト	年度	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
事業費(決算又は予算額)A	単位	59	5,907	0	5,948	4,548	5,934	5,934			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	59	5,907	0	5,948	4,548	5,934	5,934		
人件費B	千円	2,857	2,864.4	2,551.9	2,551.9	2,551.9	2,551.9	2,551.9			
正職員従事時間×人数	時間×人	128×6	110×7	98×7	98×7	98×7	98×7	98×7			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C	千円	91	91	69	69	69	69	69			
トータルコストA+B+C	千円	3,007	8,862.4	2,620.9	8,568.9	7,168.9	8,554.9	8,554.9			
単位あたりコスト	① 千円/人	4.9	14.4	4.1	14.3	11.8	13.8	13.6			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	426	友好都市小学生スポーツ交流事業
-------	-----	-----	-----------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	交流団の派遣・受入を行うことによって、それぞれの市の文化に親しむことができている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	令和3（2021）年度から女子児童を対象にバスケットボールの交流を追加。（新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止。）
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	交流を途絶させないように交流を継続する意義を見つめ直し、現状で行えることを検討する必要がある。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	交流団のメンバーとなりえる小学生に積極的に募集を行う。	
	目的達成状況	内容	士別市交流団の派遣、受入は、新型コロナウイルスの影響によりサッカー、野球共に中止。令和3（2021）年度から予定としたバスケットボールの交流も上記の影響により中止。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 交流団の派遣の際に交流団に補助金を支給する必要がある。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	交流団が主体となるため、統廃合できない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容	交流団派遣人数の検討	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	派遣に必要な費用と参加者負担の割合の見直し。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	種目が野球・サッカー・バスケの3種目で固定されている。	対応策	他種目（陸上等）での実施について検討していく。
	R4年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	交流団派遣・士別市交流団受入でサッカー、野球を実施予定であったが中止。バスケットボール派遣も中止。	変更追加	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での事業実施。その他追加・変更なし。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 交流の機会の拡大のため他種目での実施について検討する必要がある。 新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、事業の効果的な実施方法を検討する必要がある。	
	コストの方向性	↓ 減少			
	成果の方向性	→ 維持			